



5倍のPM2.5が！

—西日本防災システム

2019 01

マスク必携！

NBS 119

慶応大などの研究チームが、ぜんそくなどの原因となるPM2.5(微小粒子状物質)の濃度を地下鉄の駅構内で調べたところ、地上に比べて最大で**5倍**だったとの調査結果を、まとめたようです。地下鉄が駅に停車する際のブレーキなどで金属の微小粒子が発生した可能性があるようです。研究チームは昨年7月、横浜市内の地下鉄駅構内に測定機器を置き、午前5時から午後8時までのPM2.5濃度の変化を調べたそうです。その結果、濃度は始発電車が到着した頃から上がり始め、午前8～10時頃の通勤時間帯には大気m<sup>3</sup>あたり100マイクロ・グラムを超えたそうです。同じ時間帯に屋外で測った濃度の約5倍でした。粒子の成分を詳しく分析したところ、鉄の濃度が屋外の約230倍だったほか、チタンや銅、亜鉛などの金属類の濃度が高い傾向にあったそうです。研究チームは、ブレーキや車輪とレールの摩擦によって鉄などの微小粒子が発生したと考えているようです。地下鉄はよく利用する交通手段ですから気がかりですね！ 皆さん！マスクは必需品です！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ

